

令和8年度本部町教職員働き方改革推進プラン（抜粋）

本部町教育委員会

1. 趣旨

社会の変化に伴い学校が抱える課題が複雑化・多様化する中、教師の長時間勤務は本町も含め、全国的な大きな課題である。教師の業務負担軽減を図り、教職人生を豊かにすることで、教師の人間性や創造性を高め、児童生徒等に対して効果的な教育活動を持続的に行うことができる状況を創り出すことを目的とする。

2. 方針

- (1) 働き方改革によって教育の質の向上を追求していくという教師本来の使命感を失うことなく、より効率的な働き方を極めていくことで、業務負担軽減を図ることを推進する。
- (2) 文部科学省の公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン（H31）、沖縄県公立学校における働き方改革推進計画「みんなの学校！ピースフル・プラン」（R6～8）、「学校における働き方改革」の取組目標『私たちのピース・リスト 2023』の方針、本部町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画のもと推進する。
- (3) 勤怠管理システムを活用し、勤務時間データを根拠に目標設定等、推進プランの指標とする。
- (4) 学校と教育委員会が連携し、現状に沿った実効性のある推進プランとする。
- (5) 本推進プランをもとに、校内の取り組みを推進する。

3. 推進プランの3軸6視点

<働きやすさ>

視点1 同僚・管理職との良好な人間関係の構築

視点2 個人の裁量（ゆとり）ある時間の確保

<働きがい>

視点3 児童生徒・保護者との信頼関係の構築

視点4 資質能力の向上や専門性の発揮

<心身の健康>

視点5 心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成

視点6 長時間勤務の改善

4. これまでの取り組み

【平成30年度】

- (1) スクールサポートスタッフ2人の配置（12クラス以上の大規模校）

【令和元年度】

- (1) 校務支援システムの導入（中学校2校）
- (2) 学校閉庁日の設定
- (3) 支援員の業務内容に、教職員の事務作業補助を追加

【令和2年度】

- (1) ICT機器を利用した勤務時間の管理の導入
- (2) ICT支援員の配置
- (3) 学校グループウェアの導入
- (4) 小学校5、6年の外国語科の英語専科教諭の配置
- (5) 小学校デジタル教科書の導入
- (6) スクールサポートスタッフの増員
- (7) 町主催の校長・教頭研修会の各3回削減
- (8) 夏祭り等の夜間パトロールへの教職員の参加廃止
- (9) 校外学習申請及びスクールバス借用のシステム化

【令和3年度】

- (1) 教員業務支援員（旧スクールサポートスタッフ）3人の継続配置
- (2) 部活動指導員の配置（3人）
- (3) 全小中学校校務支援システムの導入
- (4) 運動場除草作業の委託（大規模校）
- (5) ICT支援員の増員
- (6) 小中学校デジタル教科書の導入（授業に使用する掲示物等の準備時間削減）

【令和4年度】

- (1) 教員業務支援員（旧スクールサポートスタッフ）3人の継続配置
- (2) ICT支援員1人の継続配置
- (3) 部活動指導員の継続配置（3人）
- (4) 小中学校デジタル教科書の継続導入
- (5) 電話対応時間の設定（7:30～17:30）、留守番電話等の導入
- (6) WEBを活用した欠席連絡の効率化
- (7) 児童生徒向け生活アンケートのシステムの構築

【令和5年度】

- (1) 教員業務支援員（旧スクールサポートスタッフ）3人の継続配置
- (2) ICT支援員1人の継続配置
- (3) 部活動指導員の継続配置（3人）
- (4) 小中学校デジタル教科書の継続導入
- (5) 校務用パソコンの更新整備（パソコンの動作環境改善及び作業効率の向上）

【令和6年度】

- (1) 教員業務支援員（旧スクールサポートスタッフ）3人の継続配置
- (2) ICT支援員1人の継続配置
- (3) 部活動指導員の継続配置（3人）
- (4) 小中学校デジタル教科書の継続導入
- (5) 学校閉庁日の日数増（計4日）

【令和7年度】

- (1) 教員業務支援員（旧スクールサポートスタッフ）3人の継続配置
- (2) ICT支援員1人の継続配置
- (3) 部活動指導員の継続配置（3人）
- (4) 小中学校デジタル教科書の継続導入
- (5) 次年度年間授業時間総数の点検、行事の精選、週時程の見直し等
- (6) 乗用草刈機及び牽引式刈草集草機の導入（環境整備に係る作業時間の削減）